

基本・実施設計業務委託に係る公募型プロポーザル(結果報告)

1. 募集の概要

(1) 募集期間

令和4年6月22日(水)から同年8月1日(月)

(2) 応募資格(抜粋)

- 過去5年間に国又は地方公共団体が発注する延べ面積1,000平方メートル以上の建築物の新築、増築又は改築の基本設計又は実施設計業務を元請として完了した実績を有すること
- 共同企業体の場合、構成員の数は代表構成員を含め2者であること
- 管理技術者、建築(意匠)主任技術者は、参加表明者と直接的雇用関係があり、一級建築士の資格を有している者であること

(3) 選定方法と流れ

①審査委員会

役職	氏名	所属
委員長	木方 十根	国立大学法人鹿児島大学大学院理工学研究科教授
委員	川島 茂	鹿児島県立短期大学生活科学科教授
	竹ノ下 武宏	桜峰校区コミュニティ協議会会長
	中 豊司	鹿児島市教育委員会事務局管理部長
	山下 聖和	鹿児島市教育委員会事務局教育部長
	矢崎 順一	鹿児島市教育委員会事務局管理部参事施設課長
	新留 善章	鹿児島市建設局建築部参事設備課長

②審査方法

第一次審査(書類審査)

第二次審査参加者を5者程度選定する。

第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)

本業務に最も適した設計候補者及び次点の者をそれぞれ1者選定する。

③評価項目

実績等の資格審査の他、「設計のコンセプト」、「基本構想及び設計のコンセプトを踏まえた施設設計」、「業務の進め方等」を評価項目として審査する。

2. 応募について

(1) 応募状況

12者(県外単独…4者、県内単独…2者、県内JV…2者、県外+県内JV…4者)

(2) 第一次審査

令和4年8月9日(火)、審査選定委員会開催。

提出資料について、審査委員が総合的に審査し、4者を選定。

審査結果は、参加表明者に通知済み。

(3) 第二次審査

令和4年8月29日(月)、桜島公民館において審査選定委員会開催。

第一次審査で提出の提案書等について、各提案者にプレゼンテーション及びヒアリングをして審査し、提案内容の適格性、独創性、実現性などを総合的に審査し、最も適した設計候補者及び次点の者をそれぞれ1者選定。

プレゼンテーション及びヒアリングについては一般公開し、約85名が傍聴。(審査は非公開)

審査結果は、9月1日公表済み。

審査委員長による審査講評は、後日公表予定。

<二次審査結果>

設計事業者 候補 (最優秀賞)	一級建築士事務所大西麻貴+百田有希/o+h(東京都中央区) 設計コンセプト:「桜島まるごと学校」 選定された理由:建物の独自性や、桜島における教育を総合的に考えている 点が、特に高く評価された。 これまでの実績:山形市南部児童遊戯施設 (シェルターインクルーシブプレイスコパル) 多賀町中央公民館「多賀結いの森」など 主な受賞歴 :第2回日本建築設計学会賞大賞(2018) 2018年度JIA(日本建築家協会)新人賞 日本建築学会作品選奨、新人賞(2019)
次点	日総建・みのだ共同企業体 設計コンセプト:桜島に呼応し、まちが溶け込む学校

3. 今後のスケジュール

基本設計については、10月から設計業者がワークショップ(WS)を開催し、地域住民や保護者、子ども達等に対し、設計のコンセプトについて説明し、理解してもらったのち、新校舎に対する要望等を聞いて整理し、設計に活かしながら今年度中に完成させる予定です。

設計事業者からは、定期的に WS を開催し、対話から案を変化させる創造的な設計プロセスとすることが提案されています。

また、このWSでは、廃校の跡地活用も検討していく予定です。

9月中旬	設計事業者との契約締結	} ここは想定 (詳細未定)
9月下旬	第6回整備検討委員会開催 ※設計事業者から、基本設計の提案コンセプト等の説明	
10月以降	設計事業者とのヒアリング(地元への説明会等)・WSの開催	
11月中旬	第7回整備検討委員会開催 ※WSと基本設計変更について	
11月下旬	基本設計の設計変更の決定	
3月末	基本設計の完成	